

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ吉備中央(大和)

| | チェック項目 | はい | どちらでもない | いいえ | 工夫している点 | それを踏まえた対応 | |
|---------|--------|--|---------|-----|---------|--|---|
| | | | | | 改善目標 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 3 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが密集して机で遊んでいると先生が介入しづらい時がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 現在は先生との勉強エリア、一人での勉強エリア、自由遊びエリアがあります。定期的に見直し、過ごしやすい空間を目指しています。自立的に過ごせている場面、先生の介入が必要な場面とを確認し、介入がない状況下でも過ごしやすい配慮などを検討していきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 4 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> 一度に2か所をみる時、上手くコントロールできるようにする。 実質は足りているが、人手は欲しいと感じる。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員の体制は指定基準を満たしています。保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士等の資格を有したものが支援を実施しています。今後のより良い支援の向上や発展へ向け、職員募集の検討中です。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | | | <ul style="list-style-type: none"> 入り口は◎である。 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | 1 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 2 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> 現在は第三者による外部評価を行っておりません。しかし、当法人の各事業所の管理者の視察アドバイスや専門機関の先生による巡回相談の機会を設けています。 |

| | | | | | | | | |
|-----|----|--|---|---|---|--|---|--|
| 適切な | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | | | ・各事業所とのスタッフ学習会を2か月に1回開催しております。また、人材育成、キャリアパスなどの様々な研修に職員が参加をしています。 | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | | | ・根拠のある専門的な支援の構築として認知機能面（物事の捉え方）、見る力、聞く力、他者との関わる力、心の理論（他者信念の理解）など多くのアセスメントを実施しています。相談機関からの情報提供をもとに、保護者の方やお子様の思いを大事にしながら、放課後等デイサービス計画を作成しております。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 2 | 3 | | | | ・活動プログラムの立案については管理者より、大目標やプログラムの設定を提示しています。今後、一人で自立して取り組めるワークなどの活動プログラムについて職員会議などで共有を行います。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | 1 | | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 4 | | 1 | | ・順番にやっていくことが多い。その日の子どもの状態を見ていき、課題設定を行っていく。 | ・平日には宿題や発達面に関する取り組みを実施しています。休日には社会生活に必要なスキルの向上を目標にした支援を実施しています。長期休暇では集団での活動プログラムも実施します。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 3 | 2 | | | ・土曜日は集団で活動している。 | ・先生と1対1でのワークや集団での遊び場面の共有、宿題への取り組みなど、様々な活動内容を組み合わせた計画を作成しています。 |

| | | | | | | | |
|-------|----|---|---|---|---|---|---|
| 支援の提供 | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 1 | 3 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・兼務開始後事前に話し合えるタイミングが少なくなった。うまく時間を見つけていきたい。 ・忙しく時間がとれない時もあるが、新人の先生、囁託の先生には伝え、確認するようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前だけではなく、連絡会として。昼や夕方にも情報の共有を周知しています。マニュアルの確認や書籍の情報共有なども行っております。職員ケース会議や支援についての共有など、話しやすい環境の設定を大切にしていきたい。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | | 2 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時間を設けることは難しい。落ち着いている時間を見つけ、情報共有をしていきたい。 ・運営から見て気になる点があればフィードバックするよう心掛けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お子様が営業時間まで利用されています。情報の優先度も考え、その日に情報共有すること、翌日の連絡会で共有できることなどのサビ分けをしながら、情報がもれることがないように工夫しています。各職員から意見やアイデアを話し合う場面も見られ、各職員の気付きや意見も大切にしていきたい。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | | | |
| | 18 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・6か月に1回のサービス計画の見直しを実施しております。評価に基づき、確実な成長や課題を保護者の方と確認しております。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている | 5 | | | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 4 | | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議では管理者だけではなく、現場スタッフなど様々な職員が参画し、情報の共有を行っています。サービス担当者会議は参加職員が事前書類を作成し、管理者の確認の元、参画します。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 3 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ミスがないよう、確認を複数回行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・イレギュラーなことが起きた際には各学校との電話連絡にて対応を行っています。 |

| | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | | | | ・現状利用者はいらっしゃいません。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 3 | 2 | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 3 | 2 | | | ・現状利用者はいらっしゃいませんが、保護者の方のご希望により実施したり、参加したりします。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 2 | | | ・現在、スキルアップ研修として専門機関の先生による巡回相談の機会を設けております。個別のケースや療育全体の中での多くのご助言をいただき、すぐに実践をしています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 3 | 2 | | ・新型コロナウイルスの関係もありますが、春祭りや地域のイベント出店を計画検討中です。地域のお子さんやつむぎの利用者様が一緒に楽しめるイベントを実施していきたいと思います。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 4 | | 1 | | ・吉備中央町障害者等地域自立支援協議会教育部会に参加し、相談支援ファイルの作成、就学学習会などに携わっています。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | 1 | | ・～してほしい、苦手なところを少しずつできるようになってほしい等のニーズを保護者から伺っている。 | ・保護者の方には活動のねらいや課題の達成度、その様子をご説明しています。共通理解を持つには多くの時間とお子様への理解が必要であり、申し送りに加え、保護者座談会やプランのご説明なども大切にしております。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | 1 | | | |

| | | | | | | | |
|------------|---|--|---|---|---|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4 | 1 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | 1 | | ・根拠のある説明ができるよう知識をさらに得ていく。 | ・相談をいただいた際には傾聴を基本としながらも、ご助言できるよう、障がい特性や具体的な支援方法などについて、職員学習会や職員ケース会議にて大切にしていけます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 4 | 1 | | ・コロナの影響で開催が難しい状況である。座談会は2か月に一度実施しているが、参加者は少ない。座談会を開催している。 | ・飲食を伴う親睦会は新型コロナウイルスの関係で中止しております。座談会については年5回開催予定とし、保護者同士が気軽に話し合える場を提供しております。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 5 | | | ・鍵付きロッカーへ個人ファイルを保管している。 | ・個人情報鍵付きロッカーへ管理することを基本としております。また、申し送りの際には個人名が他の保護者様に伝わらないよう、個々に実施させていただいております。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 2 | 2 | ・コロナ関連で行っていないように思う。 | ・事業所の行事として春のお祭りの開催を計画検討中です。新型コロナウイルスの関係もありますが、地域住民に開かれた事業運営を目指しております。 |
| 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4 | 1 | | ・防災の日に防災に関するメールを配信している。 ・保護者への周知は？である。 | ・防災情報として避難場所についてメール配信を行っております。各マニュアルについても事業所入口に掲示があり、いつでも確認できるように準備しております。 | |

| | | | | | | | |
|--------|----|--|---|---|--|--|---|
| 非常時の対応 | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | 1 | | | ・契約をさせていただく際に身体拘束を行わないことを約束しております。しかし、1か月のアセスメント期間を経て切迫性、非代替性、一時性として身体拘束について検討の必要がある際には保護者様へご報告、ご相談をさせていただくようにしております。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | | | |

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～

|